

【自動車運送事業】

6 自動車運送事業

(1) 業務実績

自動車運送事業における令和 3年度の業務実績を令和 2年度と比較してみると第 1表のとおりである。

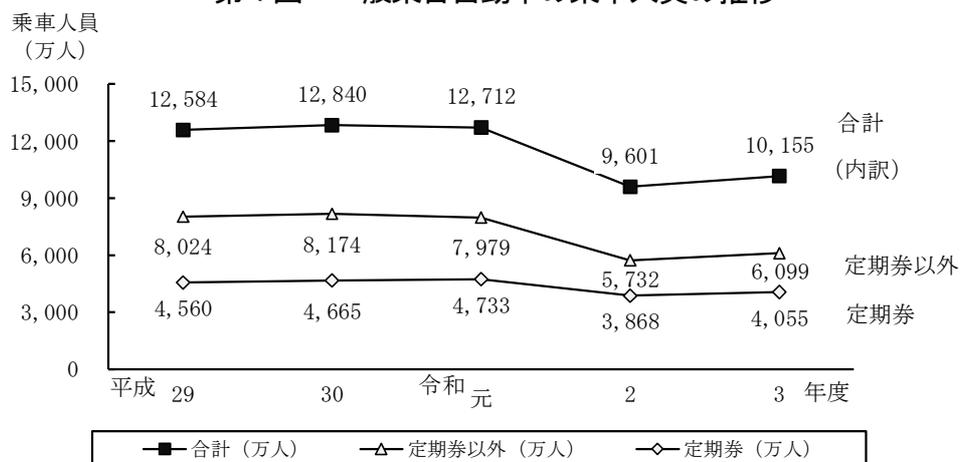
第 1表 業務実績

区 分		令和 3年度	令和 2年度	比較増△減	前年度対比	
運 転 キ ロ 数	年 間	km 36,106,320.4	km 36,172,497.0	km △ 66,176.6	% 99.8	
	1 日 平 均	98,921.4	99,102.7	△ 181.3	99.8	
乗 車 人 員	一 般 乗 合	年 間	人 101,552,072	人 96,012,117	人 5,539,955	% 105.8
		定 期 券	40,554,319	38,686,972	1,867,347	104.8
		定 期 券 以 外	60,997,753	57,325,145	3,672,608	106.4
	1 日 平 均	278,225	263,047	15,178	105.8	
貸 切	年 間	317,600	220,860	96,740	143.8	
	1 日 平 均	870	605	265	143.8	
	合 計	101,869,672	96,232,977	5,636,695	105.9	
1 日 平 均	279,095	263,652	15,443	105.9		

運転キロ数は 3,610万キロメートルで、ほぼ横ばいとなっている。

乗車人員は 1億 186万人で、前年度に比し 5.9%増加している。うち一般乗合自動車の乗車人員の推移は、第 1図のとおりである。

第 1図 一般乗合自動車の乗車人員の推移



一般乗合自動車の乗車人員は前年度より増加しているものの、新型コロナウイルス感染症の影響が続いたことから、影響前の令和元年度以前と比較すると減少している。

(2) 予算執行状況

ア 収益的収入及び支出

令和3年度の予算執行状況は第2表のとおりである。

第2表 予算決算対照表（収益的収入及び支出）

(収入)						
科 目	予 算 額		決 算 額		予算額に比べ 決算額の増△減	収入率
	金 額	構成比	金 額	構成比		
	千円	%	千円	%	千円	%
自動車運送事業収益	24,688,778	100	24,628,788	100	△ 59,989	99.8
営業収益	18,266,383	74.0	18,300,699	74.3	34,316	100.2
営業外収益	6,422,395	26.0	6,328,088	25.7	△ 94,306	98.5

(支出)						
科 目	予 算 額		決 算 額		不 用 額	執行率
	金 額	構成比	金 額	構成比		
	千円	%	千円	%	千円	%
自動車運送事業費	26,671,924	100	25,890,722	100	781,201	97.1
営業費用	25,890,671	97.1	25,181,616	97.3	709,054	97.3
営業外費用	265,660	1.0	203,513	0.8	62,146	76.6
特別損失	505,593	1.9	505,593	2.0	0	100
予備費	10,000	0.0	0	0	10,000	0

収益的収入は、予算額 246億 8,877万円に対し決算額は 246億 2,878万円で、予算額に対し99.8%の収入率である。

収益的支出は、予算額 266億 7,192万円に対し決算額は 258億 9,072万円で、予算額に対し97.1%の執行率である。

主な不用額

(営業費用)

人件費	1億 7,475万円	欠員が生じたこと等による
修繕費	1億 5,529万円	バス車両の抗ウイルス・抗菌加工の契約金額が予定を下回ったこと等による
減価償却費等	1億 1,517万円	バス車両の納期変更等による

【自動車運送事業】

イ 資本的収入及び支出

令和 3年度の予算執行状況は第 3表のとおりである。

第 3 表 予算決算対照表（資本的収入及び支出）

(収入)

科 目	予 算 額		決 算 額		予算額に比べ 決算額の増△減	収入率
	金 額	構成比	金 額	構成比		
	千円	%	千円	%	千円	%
資 本 的 収 入	2,456,370	100	1,590,567	100	△ 865,802	64.8
企 業 債	2,192,000	89.2	1,358,000	85.4	△ 834,000	62.0
出 資 金	200,000	8.1	200,000	12.6	0	100
その他資本収入	64,370	2.6	32,567	2.0	△ 31,802	50.6

(支出)

科 目	予 算 額		決 算 額		翌年度 繰越額	不 用 額	執行率
	金 額	構成比	金 額	構成比			
	千円	%	千円	%	千円	千円	%
資 本 的 支 出	4,646,993	100	3,776,981	100	642,515	227,497	81.3
建 設 改 良 費	2,296,283	49.4	1,436,271	38.0	642,515	217,496	62.5
企 業 債 償 還 金	1,540,710	33.2	1,540,709	40.8	-	0	100.0
借 入 金 返 還 金	800,000	17.2	800,000	21.2	-	0	100
予 備 費	10,000	0.2	0	0	-	10,000	0

資本的収入は、予算額24億 5,637万円に対し決算額は15億 9,056万円で、予算額に対し64.8%の収入率である。これは、建設改良に充てる企業債の発行が予定を下回ったこと等によるものである。

資本的支出は、予算額46億 4,699万円に対し決算額は37億 7,698万円で、予算額に対し81.3%の執行率である。これは、翌年度繰越額 6億 4,251万円及び不用額 2億 2,749万円によるものである。不用額は主に建設改良費の残である。

【自動車運送事業】

主な建設改良事業

バス車両の更新（25両）	5億 4,097万円
緑営業所の老朽化対策工事	2億 8,987万円
停留所施設の整備・改修（照明付標識76基、上屋18基等）	1億 3,775万円

主な翌年度繰越額

バス運行総合情報システムの構築委託	3億 2,153万円
緑営業所の老朽化対策工事	2億 746万円
新型コロナウイルス感染症の影響等により、工程が遅れたことによる	

なお、資本的収入額15億 9,056万円と資本的支出額37億 7,698万円の差額21億 8,641万円については、消費税及び地方消費税資本的収支調整額等が充てられている。

【自動車運送事業】

(3) 経営成績

ア 損益の状況

令和 3年度と令和 2年度の比較損益計算書（要約）は第 4表のとおりである。

第 4表 比較損益計算書（要約）

区 分	令和 3年度		令和 2年度		比較増△減	前年度 対 比
	金 額	構成比	金 額	構成比		
	千円	%	千円	%	千円	%
営 業 収 益	17,361,309	73.3	16,736,813	71.5	624,496	103.7
運 輸 収 益	13,520,170	57.1	12,826,883	54.8	693,287	105.4
運 輸 雑 収	3,841,138	16.2	3,909,929	16.7	△ 68,791	98.2
営 業 外 収 益	6,326,175	26.7	6,657,500	28.5	△ 331,325	95.0
一般会計負担金	104,807	0.4	109,856	0.5	△ 5,048	95.4
一般会計補助金	6,124,381	25.9	6,463,125	27.6	△ 338,744	94.8
国庫補助金	10,788	0.0	0	0	10,788	-
県補助金	15,902	0.1	12,252	0.1	3,649	129.8
長期前受金戻入	34,582	0.1	35,818	0.2	△ 1,235	96.6
そ の 他	35,713	0.2	36,448	0.2	△ 734	98.0
経 常 収 益	23,687,484	100	23,394,314	100	293,170	101.3
総 収 益	23,687,484	100	23,394,314	100	293,170	101.3

区 分	令和 3年度		令和 2年度		比較増△減	前年度 対 比
	金 額	構成比	金 額	構成比		
	千円	%	千円	%	千円	%
営 業 費 用	24,282,115	96.8	23,823,743	96.9	458,371	101.9
人 件 費	13,201,226	52.6	13,055,820	53.1	145,405	101.1
自動車燃料費	1,640,149	6.5	1,285,023	5.2	355,126	127.6
修繕費	1,410,466	5.6	1,304,466	5.3	106,000	108.1
減価償却費等	1,254,102	5.0	1,293,271	5.3	△ 39,169	97.0
そ の 他	6,776,168	27.0	6,885,161	28.0	△ 108,992	98.4
（うち委託費）	5,883,212	23.5	5,961,865	24.2	△ 78,653	98.7
営 業 外 費 用	287,756	1.1	385,043	1.6	△ 97,287	74.7
支払利息及び	5,101	0.0	6,827	0.0	△ 1,726	74.7
企業債取扱諸費						
雑 支 出	282,654	1.1	378,215	1.5	△ 95,560	74.7
経 常 費 用	24,569,871	98.0	24,208,786	98.4	361,084	101.5
特 別 損 失	505,593	2.0	381,479	1.6	124,114	132.5
総 費 用	25,075,464	100	24,590,265	100	485,198	102.0

営 業 損 益	△ 6,920,805		△ 7,086,930		166,124	97.7
経 常 損 益	△ 882,386		△ 814,472		△ 67,914	108.3
当 年 度 純 損 益	△ 1,387,979		△ 1,195,951		△ 192,028	116.1
未 処 理 欠 損 金	△ 34,288,987		△ 32,901,008		△ 1,387,979	104.2

（注）営業費用の構成内容は75ページを参照。

総収益は、236億 8,748万円で、前年度に比し 1.3%、2億 9,317万円増加しており、総費用は、250億 7,546万円で、前年度に比し 2.0%、4億 8,519万円増加している。この結果、当年度の純損失は13億 8,797万円となった。

イ 収益及び費用の状況

① 経常収益

経常収益は 236億 8,748万円で、前年度に比し 1.3%、 2億 9,317万円増加している。

主な変動理由

(営業収益)

運輸収益	6億 9,328万円の増加	乗車人員が増加したこと等による
------	---------------	-----------------

(営業外収益)

一般会計補助金	3億 3,874万円の減少	地域巡回路線等維持補助金が減少したこと等による
---------	---------------	-------------------------

② 経常費用

経常費用は 245億 6,987万円で、前年度に比し 1.5%、 3億 6,108万円増加している。

主な変動理由

(営業費用)

自動車燃料費	3億 5,512万円の増加	軽油価格が上昇したこと等による
--------	---------------	-----------------

③ 特別損失

特別損失は 5億 559万円で、一般会計からの敬老パス等負担金及び資本費補助金の過年度精算分である。

【自動車運送事業】

ウ 人件費の状況

人件費の状況は第 5表のとおりである。

第 5 表 人件費の状況

区 分	令和 3年度	令和 2年度	比較増△減
	千円	千円	千円
経常収益 A	23,687,484	23,394,314	293,170
人件費 B	13,201,226	13,055,820	145,405
定数内職員 (退職給付費を除く)	12,314,799	12,188,566	126,232
定数外職員	134,821	142,070	△ 7,248
退職給付費	751,606	725,184	26,422
人件費比率 B/A	% 55.7	% 55.8	ポイント △ 0.1
職員数 (年度末)	人 1,504	人 1,511	人 △ 7

(注) 職員数は定数内職員の現員数を掲げた。

職員数は、職員が退職したこと等により、年度末比較で前年度から 7人減少している。

人件費は、前年度の途中に採用した運転士に係る人件費の平年度化等により、1億 4,540万円増加している。

経常収益に対する人件費比率は、経常収益の増加率が人件費の増加率を上回ったため、前年度に比し 0.1ポイント低下している。

(4) 財政状態

ア 資産・負債・資本の状況

令和 3年度末と令和 2年度末の比較貸借対照表（要約）は第 6表のとおりである。

第 6 表 比較貸借対照表（要約）

科 目	令和 3年度末		令和 2年度末		比較増△減	前年度 対 比
	金 額	構成比	金 額	構成比		
	千円	%	千円	%	千円	%
固 定 資 産	12,217,015	66.7	12,196,043	60.4	20,972	100.2
建 物	3,830,211	20.9	3,477,340	17.2	352,871	110.1
車 両	2,611,396	14.2	2,861,729	14.2	△ 250,332	91.3
流 動 資 産	6,110,735	33.3	7,994,361	39.6	△ 1,883,625	76.4
現 金 預 金	48,388	0.3	127,745	0.6	△ 79,356	37.9
未 収 金	1,360,065	7.4	1,296,599	6.4	63,465	104.9
短 期 貸 付 金	4,600,000	25.1	4,601,510	22.8	△ 1,510	100.0
運 用 金	0	0	1,898,489	9.4	△ 1,898,489	0
資 産 合 計	18,327,750	100	20,190,404	100	△ 1,862,653	90.8
固 定 負 債	11,635,217	63.5	11,904,244	59.0	△ 269,026	97.7
企 業 債	3,642,128	19.9	3,796,678	18.8	△ 154,550	95.9
他 会 計 借 入 金	0	0	415,500	2.1	△ 415,500	0
引 当 金	7,964,168	43.5	7,648,387	37.9	315,781	104.1
流 動 負 債	6,188,690	33.8	6,573,342	32.6	△ 384,652	94.1
企 業 債	1,512,550	8.3	1,540,709	7.6	△ 28,158	98.2
他 会 計 借 入 金	415,500	2.3	800,000	4.0	△ 384,500	51.9
未 払 金	2,657,302	14.5	2,615,587	13.0	41,714	101.6
繰 延 収 益	451,235	2.5	472,229	2.3	△ 20,994	95.6
長 期 前 受 金	451,235	2.5	472,229	2.3	△ 20,994	95.6
負 債 合 計	18,275,143	99.7	18,949,816	93.9	△ 674,673	96.4
資 本 金	33,989,573	185.5	33,789,573	167.4	200,000	100.6
剰 余 金	△ 33,936,965	△ 185.2	△ 32,548,986	△ 161.2	△ 1,387,979	104.3
資 本 剰 余 金	352,022	1.9	352,022	1.7	0	100
欠 損 金	△ 34,288,987	△ 187.1	△ 32,901,008	△ 163.0	△ 1,387,979	104.2
資 本 合 計	52,607	0.3	1,240,587	6.1	△ 1,187,979	4.2
負 債・資 本 合 計	18,327,750	100	20,190,404	100	△ 1,862,653	90.8

(注) 短期貸付金とは、高速度鉄道事業会計への一時貸付金である。

運用金とは、高速度鉄道事業会計を通じて運用している資金である。

① 資産

資産合計は、183億 2,775万円で、前年度末に比し 9.2%、18億 6,265万円減少している。

主な変動理由

(流動資産)

運用金

18億 9,848万円の皆減

高速度鉄道事業会計への運用資金の皆減による

【自動車運送事業】

② 負債

負債合計は 182億 7,514万円で、前年度末に比し 3.6%、6億 7,467万円減少している。

このうち、企業債は固定負債と流動負債を合計すると51億 5,467万円であり、償還額が発行額を上回ったことにより前年度末に比し 3.4%、1億 8,270万円減少している。他会計借入金は固定負債と流動負債を合計すると 4億 1,550万円であり、返還により前年度末に比し65.8%、8億円減少している。

③ 資本

資本金は 339億 8,957万円で、高速度鉄道事業会計からの出資金の受入れにより前年度末に比し 0.6%、2億円増加している。

欠損金は 342億 8,898万円で、当年度純損失の計上により前年度末に比し 4.2%、13億 8,797万円増加している。

イ 財務比率

各年度末の流動比率及び自己資本構成比率の推移は第7表のとおりである。

第7表 流動比率及び自己資本構成比率の推移

区 分	令和 3年度末	令和 2年度末	対前年度 増△減 ポイント	令和元年度末	平成30年度末	平成29年度末
流動比率 (流動資産/流動負債)	98.74	121.62	△ 22.88	146.25	124.85	82.18
自己資本構成比率 (自己資本/総資本)	2.75	8.48	△ 5.73	12.00	3.21	△ 18.10

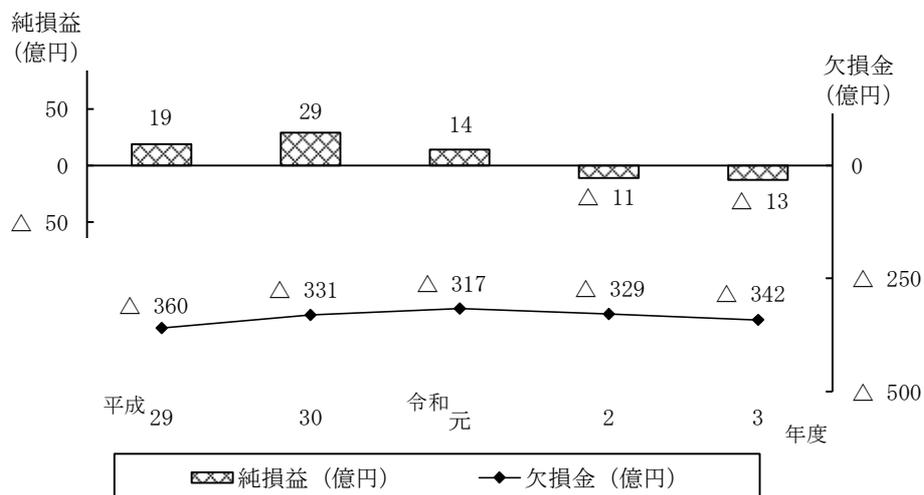
(注) 自己資本=資本金+剰余金+繰延収益
総資本=負債+資本

流動比率は、運用金の減少等により、前年度末に比し 22.88ポイント低下している。
自己資本構成比率は、当年度純損失の計上等により前年度末に比し5.73ポイント低下している。

ウ 欠損金の推移

欠損金の推移は第2図のとおりである。

第2図 欠損金の推移



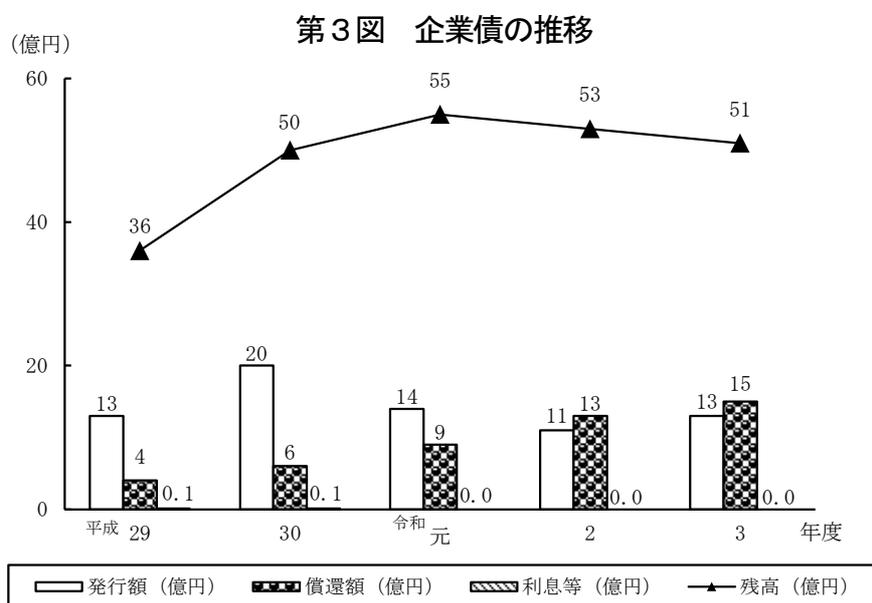
当年度は純損失を計上しているため、欠損金は増加している。

【自動車運送事業】

エ 長期借入金等の推移

① 企業債

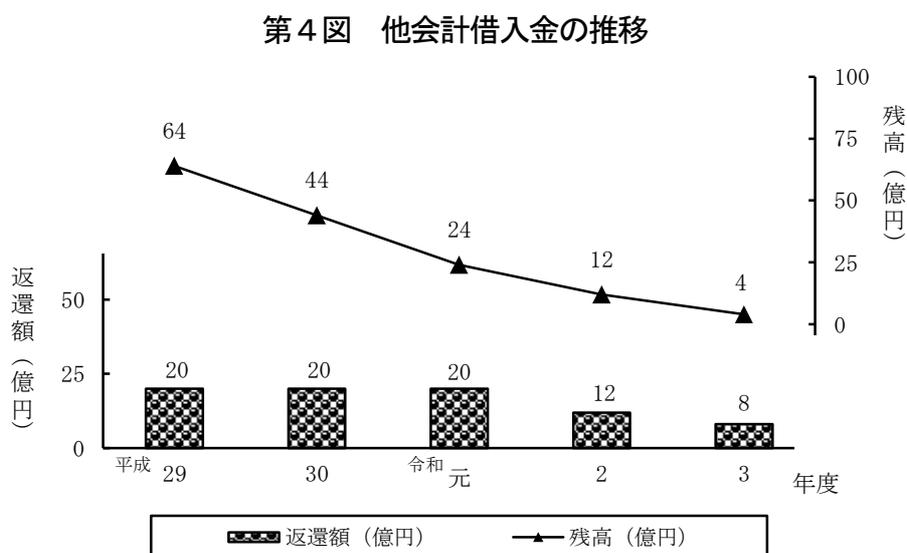
企業債の推移は第 3 図のとおりである。



当年度の企業債発行額は、13億 5,800万円となっており、償還額は15億 4,070万円となっている。この結果、企業債残高は51億 5,467万円となっている。
また、当年度の企業債利息は 510万円となっている。

② 他会計借入金

他会計借入金の推移は第 4図のとおりである。



当年度の他会計借入金返還額は 8億円となっている。この結果、他会計借入金残高は 4億 1,550万円となっている。

(5) 資金状況

令和 3年度のキャッシュ・フロー計算書（要約）は第 8表のとおりである。

第8表 キャッシュ・フロー計算書（要約）

科 目	令和 3年度
	千円
業務活動によるキャッシュ・フロー	219,996
当年度純損失	△ 1,387,979
減価償却費等	1,254,102
引当金の増減額（△は減少）	288,784
長期前受金戻入	△ 34,582
その他	99,672
投資活動によるキャッシュ・フロー	502,317
固定資産の取得による支出	△ 1,409,733
短期貸付金の純増減額（△は増加）	1,510
運用金の純増減額（△は増加）	1,898,489
その他	12,051
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 801,671
建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	1,358,000
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 1,540,709
建設改良費等の財源に充てるための他会計借入金の返済による支出	△ 800,000
他会計からの出資による収入	200,000
その他	△ 18,961
資金増加額（又は減少額）	△ 79,356
資金期首残高	127,745
資金期末残高	48,388

（注）資金は貸借対照表における現金預金と同範囲である。

業務活動によるキャッシュ・フローでは、当年度純損失を計上しているが、実際に現金の収入や支出を伴わない減価償却費等や長期前受金戻入等を加味すると 2億 1,999万円の資金が増加した。

投資活動によるキャッシュ・フローでは、運用金の減少等により 5億 231万円の資金が増加した。

財務活動によるキャッシュ・フローでは、企業債の償還や他会計借入金の返済による支出等により 8億 167万円の資金が減少した。

この結果、前年度末に比し、7,935万円の資金が減少し、期末残高は 4,838万円となっている。

【自動車運送事業】

(6) 一般会計からの繰入金について

繰出基準により一般会計から繰り入れた金額は第9表のとおりである。

第9表 繰出基準による一般会計からの繰入金

事 項	令和 3年度	令和 2年度	比較増△減	備 考
	千円	千円	千円	
一般会計補助金	551,683	562,615	△ 10,931	
収益的収入	551,683	562,615	△ 10,931	
営業外収益	551,683	562,615	△ 10,931	
基礎年金拠出金公的負担経費補助金 *1	407,012	405,842	1,170	*1 基礎年金拠出額に係る公的負担相当額
共済追加費用補助金 *2	144,670	156,772	△ 12,102	*2 共済追加費用の負担額
一般会計負担金	104,807	109,856	△ 5,048	
収益的収入	104,807	109,856	△ 5,048	
営業外収益	104,807	109,856	△ 5,048	
児童手当負担金	104,807	109,856	△ 5,048	
合 計	656,490	672,471	△ 15,980	

また、繰出基準以外で一般会計から繰り入れた金額は第10表のとおりである。

第10表 繰出基準以外の一般会計からの繰入金

事 項	令和 3年度	令和 2年度	比較増△減	備 考
	千円	千円	千円	
一般会計補助金	5,452,882	5,797,808	△ 344,926	
収益的収入	5,572,698	5,900,510	△ 327,812	
営業外収益	5,572,698	5,900,510	△ 327,812	*1 バス車両及び施設に対する補助金
資本費補助金 *1	1,135,961	1,247,605	△ 111,644	
地域巡回路線等維持補助金 *2	4,408,000	4,652,000	△ 244,000	*2 生活路線を始めとした不採算路線に対する補助金
抗ウイルス加工補助金	28,737	905	27,831	
収益的支出	△ 119,816	△ 102,702	△ 17,114	
特別損失	△ 119,816	△ 102,702	△ 17,114	
資本費補助金(過年度精算分) *3	△ 119,816	△ 102,702	△ 17,114	*3 確定額に基づいて行う過年度分の精算
一般会計負担金	4,417,821	4,375,587	42,234	
収益的収入	4,803,598	4,654,364	149,234	
営業収益	4,803,598	4,654,364	149,234	
敬老バス等負担金(当年度分) *4	4,803,598	4,654,364	149,234	*4 敬老バス及び福祉バス利用の実績に応じた負担金
収益的支出	△ 385,777	△ 278,777	△ 107,000	
特別損失	△ 385,777	△ 278,777	△ 107,000	
敬老バス等負担金(過年度精算分) *3	△ 385,777	△ 278,777	△ 107,000	
合 計	9,870,703	10,173,395	△ 302,692	